

平成 23 年度のしぎくクラブ兵庫の東日本大震災支援の取組み

東日本大震災が発生してから早や1年が経過しました。甚大な被害を受けた被災地では、復興・クラブ再建に取り組まれています。のじぎくクラブ兵庫では、全市町老連が震災支援に取り組みました。

平成 24 年 3 月末日現在で、元気袋は 12, 278 個余り作成しました。現在全ての元気袋等支援の品は行政やボランティア等の被災地支援機関に託したり、被災老連を通じ被災者に届けることができました。

心を届けよう “元気袋”

被災地の子ども達に“元気袋”を届ける！

赤穂市老連女性部は、東日本大震災被災地の子どもたちに届けるため色、柄様々な切端で手作りの巾着袋をつくり、縄跳び・あやとり・折鶴、赤穂特産の塩の小袋等を詰めて、励ましの手紙を添えた“元気袋”102個を、兵庫県警本部が被災地での生活支援と心のケアのために派遣する「のじぎく隊」に4月17日に託しました。



朝来市老連は、“元気袋”1,000個を宮城県山元町に贈る！

朝来市が被災地支援する宮城県山元町を朝来市長が5月10日に訪問するに先立って、老人クラブ幹部が4月28日に市長に面談し、“元気袋”を託しました。



淡路市老連は手作りの元気袋をつくり、カイロ、石鹸タオル等袋一杯にして送りました。

佐用町老連では、平成 21 年度の水害災害で皆さんから支援を受けた思いから、直ぐに元気袋に取り組みました。後々使える袋が便利ということで、大きな元気袋となりました。



南あわじ市老連は4月に“元気袋”を262個製作しました。袋には、日常生活用品を詰め、保育園児が折った折鶴の片隅に「一日もはやぐげんきになってね」と書いたお手紙が添えられています。



伊丹市老連では、各单位クラブから気持ちのこもった元気袋が615個集まりました。5月20日、被災地で失礼にならないようにと、女性部員が中身を仕分けし、男性役員が梱包の役目を担い出荷体制を整えました。このうち500個は伊丹市社協の救援ボランティアのバスに積込みをお願いし、宮城県岩沼市や山元町に届けました。



加古川市老連女性部

元気袋と千羽鶴



市老連女性部は、被災地に自分たちが出来る事は何かないかと相談。手揚げ袋と千羽鶴を作り送る事にしました。
ミシンを持ち寄りいざ作製、老眼は針の穴に糸を通すことさえ苦労。でもこの袋はどんな方が持ってくれるのかな？と色々想像しながら袋の中に思いを一杯詰め込みました。
千羽鶴は復興、安全、笑顔、元気と祈りを込めて折りました。微力ながら声援を送ります。
(女性部)

夏におけて手作りの帽子づくり!

北播磨ブロック（西脇市・三木市・小野市・加西市・加東市・多可町）の女性リーダーが集まって、地場産の播州織を企業から提供を受けて夏に向けて、手作りの帽子づくりに挑戦し、大震災被災者の仲間に贈るため6月末に180個、被災地岩手県や宮城県石巻市に送りました。



北播磨ブロック女性リーダーが作られた帽子と、三木市老連作成の団扇が6月23日全老連の岡本参事から岩手県大船渡市老連中村会長に手渡され喜ばれた。

夏を涼しく過ごしてと“元気うちわ”を作成

三木市老人クラブ連合会の女性部は、被災地の皆さんに夏を涼しく過ごしてもらおうと、絵や押し花等でいりどりメッセージを添えた530本の“元気うちわ”づくりに取組み被災地岩手県・宮城県に贈ったところ大変喜ばれ、被災地より追加要望があり、1,000本を各市町老連にお願いし、皆さんのご協力をいただき岩手県・栃木県等へ贈りました。

宍粟市老連作品



洲本市安乎町浜老人クラブ



三木市老連

気持ちを織り込み座布団づくり！

東播磨ブロック（明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町）、北播磨ブロック（西脇市）の女性リーダーは、8月22日に稲美総合福祉会館に集合し、地元の靴下製造業者から提供を受けた糸を束ねたわっか端を材料に、指編みでの座布団（マット）づくりに挑戦しました。できあがった色とりどりの座布団を大船渡市老連に150枚、岩手県老連に291枚送りました。後日被災地からの要望により、加古川市・西脇市・稲美町老連・北播磨ブロック女性リーダー作成の座布団を185枚岩手県大槌町・釜石市・宮古市老連に送りました。



神戸ふれあいフェスティバル・ひょうご健康福祉まつりふれあいの祭典においてチャリティバザーを実施

神戸ふれあいフェスティバル・ひょうご健康福祉まつりふれあいの祭典が10月15(土)～16(日)に神戸市メリケンパーク周辺で開催されました。のじぎくクラブ兵庫は「みんなで参加し、被災地を応援しよう！」のテーマで、餅つきや地域の特産品や手作り品などを販売しチャリティバザーを実施、2日間で延べ2,800人が来訪しました。

会場では兵庫県老連の「震災支援活動のパネル展示」も行い、両日とも盛会裡に終わることができました。



【チャリティバザー協力市町老連】伊丹市（生活雑貨）・三田市（福助菊）・川西市（子ども用景品）・明石市（雑貨・文具）・稲美町（おもちゃ）・小野市（雑貨・文具）・三木市（手づくり雑貨）・加西市（生活雑貨・服飾品）・たつの市（景品）・宍粟市（りんご・匂い袋）・丹波市（新米）・新温泉町（新米・手づくりカゴ・煮しめ昆布・景品）・洲本市（エコバッグ）・豊岡市（しめ縄・竹ぼうき）

厳しい冬を湯たんぽであたたかく

10月20日新温泉町すこやかクラブ連合会と県老連は、被災地の方が少しでも温かい冬を過ごせるように、石巻市老連に湯たんぽ300個を贈りました。湯たんぽには、湯村温泉PRキャラクターの「湯へたん」が湯たんぽを抱えて湯に入っていることにちなんで、「湯へたん」シールを貼り、メッセージを添えました。



クリスマスプレゼントづくり

のじぎくクラブ兵庫は、被災地老連の皆さんが仮設住宅訪問する際に、兵庫県から温かいクリスマスプレゼントを届けてもらおうと、牛乳パックで小物入れをブロック・市町老連の協力を得て1,300個作成し、飴とクリスマスカードを詰めて、岩手県・宮城県の被災地に届けられました。協力老連：加古川市・北播磨ブロック（三木市・西脇市・小野市・加西市・加東市・多可町）、赤穂市、相生市、宍粟市、太子町、丹波ブロック（丹波市・篠山市）、但馬ブロック（豊岡市・養父市・香美町）、淡路市・南あわじ市



バスタオルを贈ろう！

昨年末、被災地よりバスタオルの支援要請があり、バスタオルの提供を各市町老連に呼びかけたところ、当初の予定数を大きく上回る25市町老連から4,000枚ものバスタオルが届きました。

バスタオルは、県老連で袋づめをし、メッセージカードを添え、岩手県釜石市・大槌町、宮城県気仙沼市・七ヶ浜町、福島県の老人クラブに送りました。



石巻市老連とのじぎくクラブ兵庫とのふれあい交流会

芦屋市・南あわじ市で実施

東日本大震災から間もなく1年が経過するとき、津波等で被害が甚大であるなか復興・クラブの再建に尽力されている宮城県石巻市老連被災会員19名の皆さんを2月27日～29日兵庫県に招待しました。阪神・淡路大震災で被災を経験した同じ仲間との交流を深め、心の癒しや元気回復の一助になればと、芦屋市老連と淡路ブロック老連協（南あわじ市）との交流を図りました。

第1日目（2月27日（月））芦屋市老連との交流 37名

会場 芦屋市民センター

芦屋市老連との交流会
石巻市老連遠藤会長挨拶
参加者から、丹波市からの元
気袋を頂いて元気をもらっ
たと感謝の言葉もあった。



芦屋市長を囲んで石巻市老連、
芦屋市老連の皆さん



神戸市東遊園地の「慰霊と復興の灯り」を見学
1・17希



神戸・新長田の復興のシンボル・鉄人28号を見学
「わあ、おおいな……」

第2日目（2月28日（火））淡路ブロック老連協との交流 59名

会場 南あわじ市ふれあい公園・道のうずしお」鳴門みさき荘



南あわじ市老連緑支部管理の梅林見学



南あわじ市緑支部から郷土料理「ちよぼ汁」がふるまわれた。



淡路ブロックの太鼓や民踊で歓迎。最後に全員で阿波踊りを踊り会場が一体化した。



淡路人形浄瑠璃の説明と生産高日本一の線香工場でお香づくりを体験

第3日目 2月29日（水）



淡路夢舞台のラン展で3日間の糸の皮れを癒す



のじぎくクラブ兵庫が建立した阪神・淡路大震災記念碑を見学

空港ロビーで見送る人、見送られる人、話は尽きない。また会う日まで！



東日本大震災チャリティーバザーを開催

稲美町では、5月3日に「稲美ふれあいまつり」が開催され、各団体が模擬店やバザールコーナーに出展しました。

稲美町老連は、昔遊びコーナーを設け、水鉄砲・竹トンボ・こまづくりなどを子どもたちに体験させたり、売上を東日本大震災被災者に届けるため、手づくりの布草履・ブローチ・お手玉などを出展販売しました。



西脇市老連は、東日本大震災被災地に息の長い支援をしようと、平成24年1月27日（金）西脇市総合福祉センターで若手委員会主催の芸能発表会とチャリティーバザーを同時開催しました。会員は、手作りの帽子・座布団、朝採りの冬野菜・花苗等を出店。完売となり、芸能発表会と併せて大盛況でした。



のじぎくクラブ兵庫「東日本大震災」義援金総額

63,488,170 円

《寄託先》（財）全国老人クラブ連合会

53,322,581 円

東日本大震災兵庫県義援金募集委員会

10,000,000 円

宮城県石巻市老人クラブ連合会

165,589 円

のじぎくクラブ兵庫は、東日本大震災義援金（救援金）の取組みについて、阪神・大震災時の支援に対するお返しの意味も込めて、平成23年3月15日に県下市町老連に対して依頼し、多額の浄財が寄せられました。平成24年3月末日までに寄せられた義援金の総額、寄託先は上記のとおりです。

6月30日、東日本大震災兵庫県義援金募集委員会会長の井戸知事に義援金1,000万円を寄託し、知事から感謝状が贈呈されました

このほか、神戸ふれあいフェスティバル・ひょうご健康福祉まつり（10/15～16）等におけるチャリティーバザーの売上金は、549,822円ありました。チャリティーバザーの売上は東日本大震災支援のために活用しました。

被災地へ送った品物(H24.3.31 現在)

元気袋 12,278 個 夏の手づくり帽子 180 枚 元気うちわ 1,425 枚 手づくり座布団 626 枚 湯たんぽ 300 個
クリスマスプレゼント 1,439 個 バスタオル 4,000 枚 懐かしの愛唱歌集 360 部

協力企業・団体

舞子ビラ神戸 ビニール袋、歯ブラシ

サンラッキー にぎにぎボール

布亀(株) アルコール消毒液、バンドエイド、のど飴、ポーチ、エコバッグ、うがい薬、マスク